

次期(第9次)保健医療計画の策定

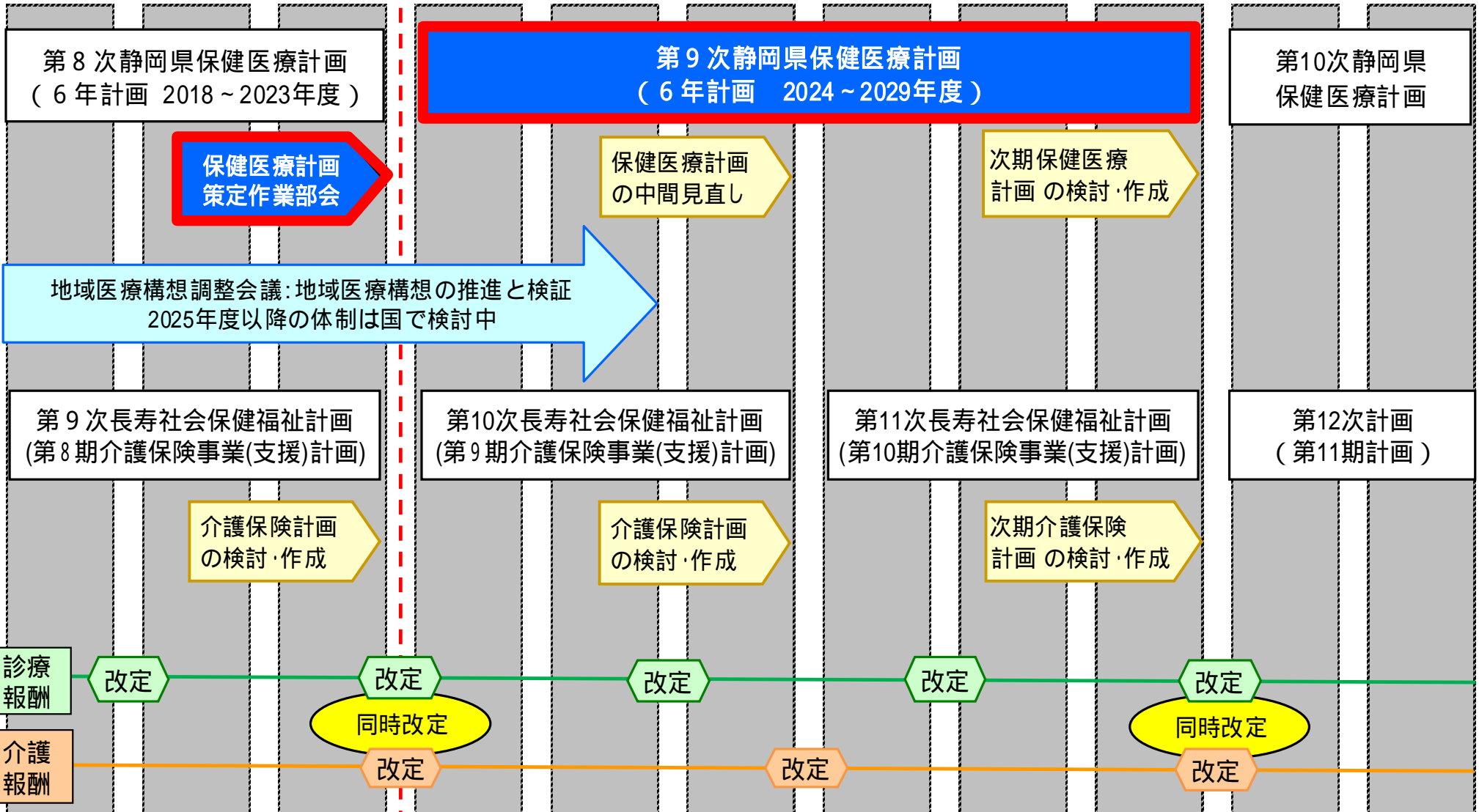
現計画（第8次静岡県保健医療計画）の概要

区分	内容
法的根拠	医療法第30条の4及び6
計画の性格	県の総合計画（富国有徳の美しい“ふじのくに”の人づくり・富づくり）の分野別計画であり、本県における保健医療施策の基本指針
計画期間	2018年度（平成30年度）から2023年度（令和5年度）までの6年間
2次保健医療圏	入院医療の提供体制を確保するための一体の区域（県下8医療圏）
基準病床数	療養病床及び一般病床 26,720床（8圏域） 精神病床 5,388床（県全圏域） 結核病床 82床（県全圏域） 感染症病床 48床（県全圏域）
疾病・事業等に係る医療連携体制の構築	6疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、肝炎、精神疾患） 5事業（救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療（小児救急医療を含む。）） 在宅医療（訪問診療の促進、訪問看護の充実、歯科訪問診療の促進、かかりつけ薬局の促進、介護サービスの充実）
圏域別計画	医療資源や住民の健康状態等は圏域ごとに実状が異なることから、地域の状況に応じて、6疾病5事業及び在宅医療に関する圏域別の計画を策定。
その他	団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けた取組、医療機関の機能分担と相互連携、地域包括ケアシステムの構築 ほか

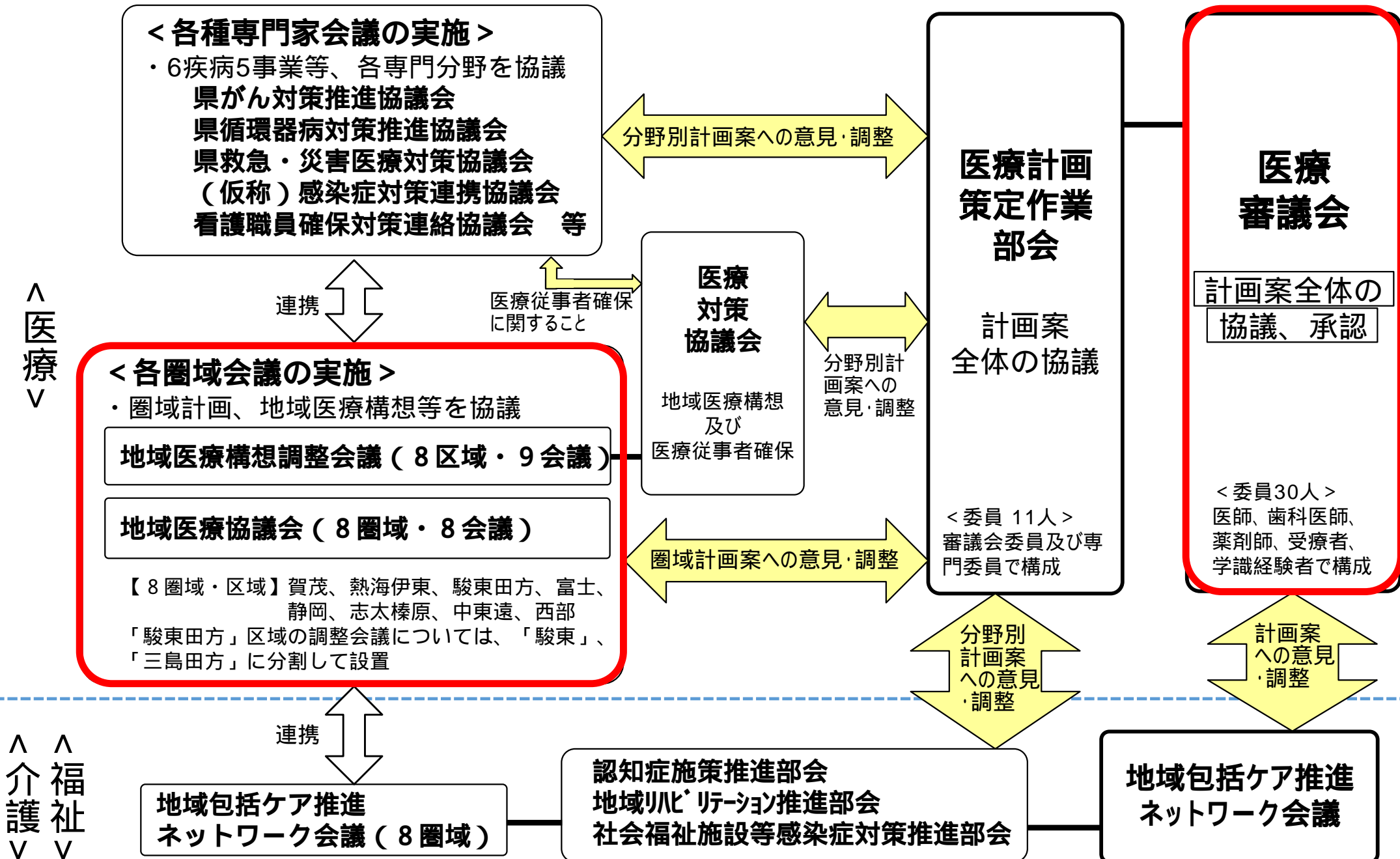
保健医療計画及び長寿社会保健福祉計画の計画期間

- 国の医療介護総合確保方針に基づき、医療計画と長寿計画は、整合性を確保しながら、同時に改定。
- その他の関連する計画とも、整合性をとりつつ改定作業を進めていく。

2021年度 2022年度 2023年度 2024年度 2025年度 2026年度 2027年度 2028年度 2029年度 2030年度 2031年度



第9次静岡県保健医療計画の策定体制



医療審議会（同計画策定作業部会）・医療対策協議会委員

< 医療審議会 > 会長、○副会長

R5.4.1時点

< 医療対策協議会 > 会長、○副会長

R5.4.1時点

区分	氏名	所属団体名・役職名	部会
審議会委員	紀平 幸一	静岡県医師会会長	
	加陽 直実	静岡県医師会副会長	
	齋藤 昌一	静岡県医師会副会長	部会長
	福地 康紀	静岡県医師会副会長	
	木本 紀代子	静岡県医師会会員	
	谷口 千津子	静岡県医師会会員	
	毛利 博	静岡県病院協会会長	○
	荻野 和功	静岡県病院協会副会長	
	伊藤 恵利子	静岡県病院協会参与	
	山岡 功一	静岡県精神科病院協会副会長	
	大松 高	静岡県歯科医師会会長	
	大内 仁之	静岡県歯科医師会専務理事	○
	松田 美代子	静岡県歯科医師会理事	
	石川 幸伸	静岡県薬剤師会会長	
	山口 宜子	静岡県薬剤師会常務理事	○
	小野 達也	静岡県市長会(伊東市長)	○
	太田 康雄	静岡県町村会(森町長)	○
	田中 弘俊	健康保険組合連合会静岡連合会	
	長野 豊	全国健康保険協会静岡支部長	○
	石田 友子	認知症の人と家族の会静岡県支部 代表	
	稲葉 由子	しずおか女性の会運営委員	
	今野 弘之	国立大学法人浜松医科大学学長	○
	渡邊 昌子	静岡県看護協会会長	○
	○杉本 好重	静岡県議会厚生委員会副委員長	
	山本 たつ子	静岡県社会福祉協議会理事	
	多田 みゆき	静岡県訪問看護ステーション協議会副会長	
	木苗 直秀	県立大学特別顧問	
	佐野 由香利	静岡新聞社編集局社会部記者	
	鈴木 みちえ	順天堂大学保健看護学部客員教授	
	中村 祐三子	NPO法人静岡県介護支援専門員協会理事	
専門委員	小林 利彦	地域医療構想アドバイザー	○
	竹内 浩視	地域医療構想アドバイザー	○

所属団体	団体職名	氏名
静岡県医師会	副会長	齋藤 昌一
静岡県医師会	理事	小野 宏志
静岡県立静岡がんセンター	病院長	小野 裕之
県立こども病院	院長	坂本 喜三郎
伊東市民病院	管理者	川合 耕治
富士市立中央病院	院長	児島 章
藤枝市立総合病院	院長	中村 利夫
磐田市立総合病院	事業管理者	鈴木 昌八
順天堂大学医学部附属静岡病院	院長	佐藤 浩一
県立総合病院	院長	小西 靖彦
聖隷三方原病院	院長	荻野 和功
伊豆今井浜病院	院長	小田 和弘
浜松医科大学	副学長	松山 幸弘
国立病院機構静岡医療センター	院長	岡崎 貴裕
静岡県病院協会	会長	毛利 博
静岡県市長会	焼津市長	中野 弘道
静岡県町村会	森町長	太田 康雄
静岡県地域女性団体連絡協議会	会長	岩崎 康江
静岡県社会福祉協議会	会長	神原 啓文
静岡新聞社	編集局記者	大須賀 伸江
地域医療構想アドバイザー	会員	小林 利彦
地域医療構想アドバイザー	特任教授	竹内 浩視
静岡社会健康医学大学院大学	副学長	浦野 哲盟

第9次静岡県保健医療計画の策定スケジュール（案）

区分		令和4年度	令和5年度												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
県全体	医療審議会	第2回 (3/27)					第1回 【骨子】 (8/30)					第2回 【素案】 (12/22)			第3回 【最終】 (3/26)
	保健医療計画 策定作業部会	第1回 (12/1)		第1回 (5/24)			第2回 【骨子】 (8/9)					第3回 【素案】 (12/6)			第4回 【最終】 (3/12)
	医療対策協議会 地域医療構想、医療従 事者確保を協議	第3回 (3/14)				第1回 【骨子】 (7/12)				第2回 【素案】 (11/21)				第2回 【最終】 (2/29)	
各圏域	地域医療協議会														
	地域医療構想 調整会議			第1回 【骨子】						第2回 【素案】				第3回 【最終】	
関連会議 (各専門家会議)			骨子作成協議					素案作成協議					最終案協議		
事務局	本庁関係各課	策定指針の提示（厚労省）	2次医療圏・構想区域				次期医療計画（骨子案）	計画（素案）作成				次期医療計画（素案）	計画（最終案）作成		
			基準病床数					パブコメ					関係団体 意見聴取		
事務局	各保健所		在院患者調査					圏域版（素案）作成					圏域版（最終案）		
			圏域別計画の作成												

第9次静岡県保健医療計画の全体構成（案）

下線は主な新規・修正項目

第1章 基本的事項

基本理念、計画期間、将来に向けた取組
地域包括ケアシステム 等

第2章 保健医療の現況

人口、受療動向、医療資源 等

第3章 保健医療圏

保健医療圏設定の基本的な考え方
保健医療圏の設置、基準病床数 等

第4章 地域医療構想

構想区域、2025年の必要病床数・在宅医療の必要量、実現に向けた方向性 等

第5章 医療機関の機能分化と相互連携

医療機関の機能分化と連携、公的病院等の役割
外来医療に係る医療提供体制の確保（かかりつけ医・外来機能報告等）、医療DX 等

第6章 疾病・事業・在宅医療ごとの医療連携体制

がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、肝炎、精神疾患、救急、災害、へき地、周産期、小児、在宅医療、新興感染症発生・まん延時における医療

第7章 各種疾病対策等

感染症、結核、エイズ、難病、認知症、アレルギー疾患、移植医療、血液確保、治験、歯科保健医療
慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病（CKD）

第8章 医療従事者確保

医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、ふじのくに勤務環境改善支援センター、介護サービス事業者 等

第9章 医療安全対策の推進

医療安全支援センター 等

第10章 健康危機管理対策の推進

健康危機管理体制、医薬品等安全対策、食品の安全衛生、生活衛生対策 等

第11章 保健・医療・福祉の総合的な取組の推進

健康寿命の延伸、高齢化に伴い増加する疾患等対策
高齢者・母子・障害者保健福祉 等

第12章 計画の推進方策と進行管理

数値目標の進行管理

2次保健医療圏版（別冊）

各圏域における疾病・事業・在宅医療ごとの医療連携体制 等

各項目における記載事項【圏域版】（案）

基本的な構成は、**現計画と同様の記載とする**

冒頭で、各圏域の「**対策のポイント**」を記載

3の冒頭に、重点的に取り組む事項等に係る**数値目標を設定**

< 圏域版の構成 >

【対策のポイント】

1 医療圏の現状

- (1) 人口及び人口動態（年齢階級別人口、将来推計人口、出生、死亡の状況）
- (2) 医療資源の状況（医療施設の設置状況、医療従事者数）

2 地域医療構想

- (1) 2025年の必要病床数
- (2) 在宅医療等の必要量
- (3) 医療機関の動向
- (4) 実現に向けた方向性

3 疾病・事業及び在宅医療の医療連携体制

【数値目標】（重点的に取り組む事項等に係るもの）

- (1) 現状と課題
- (2) 施策の方向性

< 該当する疾病・事業等 >

がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患
糖尿病、肝炎、精神疾患
救急、災害、へき地、周産期、小児
在宅医療、認知症、地域リハ